
天才 / 凡人

一文字

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

天才／凡人

【Nコード】

N3306D

【作者名】

一文字

【あらすじ】

天才に憧れる少年はやがて大人になる。自分が天才ではないと気がつきながら。でも、天才はそんなにいいものだろうか？

夜のニューヨークである画家のインタビューが流れていた。

「昔少しだけ社会人をやっていたんだけど、ここは僕の場所じゃないって思った。自分の場所じゃないところにはいられなかつたんだよ、昔から。だからすぐにやめた。そして好きだった絵を描くことに専念したんだ」ニューヨークスターは天才の偉業だとたたえた。それを一人の少年が見ていた。彼も絵を描くことが好きだった。

天才が、自分の場所を、その能力を発揮できる場所を見つければそこで偉大な功績を残す。彼自身と周りの人を幸せにする。

天才じゃない人は自分の場所じゃないところに居続けて、毎日が辛いと言いながら過ごす。

少年は思った。天才になりたい。

やがて少年は青年になった。

就職という現実問題を目の前にして、彼はもう自分は天才ではなくその他大勢に分類される凡人だと分かっていた。好きだった絵を描く事も、ずいぶん前にやめていた。「将来の夢は画家になることです」と書いた小学校の卒業文集はこの前捨てた。

自分の才能では絵を描くことで生活できないと分かっていた。これから先、もう絵を描くことも無いだろうと思っていた。

天才と呼ばれる人たちを妬んだ。そのあふれる才能を思う存分発揮して、周囲からは認められ、好きな事を好きなだけやって生活できるその生き様は、とてもまぶしくてどうしても認めることができなかった。「わたしにも悩みはあるんです」という天才に、お前達は好きな事を諦めて日々生活している凡人の気持ちがわかるのか、と言ってやりたかった。

青年は思った。天才が憎い。

やがて青年は大人になり、就職して家庭を持った。都心近郊のマンションの5階が、彼の家になった。

息子は小学校4年生。地域の野球チームに入っている。将来の夢はプロ野球選手だと言っているが、父親から見てもプロになれるほどの才能は持っていない。

ある日仕事から帰ってきて玄関の扉を開けると、中から「パパ、パパ！パパって天才だったんだね！」そう叫びながら息子が走ってくる。どういう事だ、とたずねながらも息子に手を引かれてリビングに入ると、テーブルの上には一枚の絵があった。

押入れの奥からその絵が出てきた。母親に誰が書いたのかと聞くと、パパだと答えた。そんな絵がかかるなら、パパは天才だ。息子は大きな声で嬉しそうに語る。

その絵は確か、大学生の時に付き合っていた子にプレゼントした絵だった。それを完成させたあと絵を描くのをやめた、最後の絵だった。

「ごめんなさい、あなたの書いた絵、どうしても捨てられなかったのよ」彼の後ろから、妻が申し訳なさそうに、でも少し嬉しそうにそういう。

彼は息子に聞いてみた。この絵のどこが天才だと思うんだ？

「だって、すげえうまいじゃん！しかもなんか暖かい感じもするし、教科書に載ってる変な絵よりも俺こっちのほうがいい！」小学校4年生の語彙ではその表現が精一杯なのだろう。だけどそう語る息子の目は輝いて、本当に嬉しそうだった。

「ご飯にする？」と聞く妻に少し一服したいんだと告げてベランダに出る。

地上5階から見下ろす街はどの家にも明かりが灯っていた。見える灯りの中には、きっと天才と呼ばれる人は一人もいないだろう。

タバコをくわえて火をつける。だけど俺達凡人だつて俺達なりに、毎日を生きているんだ。それはどんな天才が起こす偉業よりも素晴らしい事じゃないか？

煙を吐きながら、今度の終末は久しぶりに絵を描いてみようかと考えていた。できれば野球をする息子の絵を描いてみたい。腕が落ちてないといいけど、と少し笑う彼に大切な家族の声がかかる。

大人になった彼は思う。自分の場所じゃない所には居続けられない天才と、自分の場所じゃなくても何とかやっていける凡人。本当に幸せなのは、どっちなのだろう。

(後書き)

最後の問いを思いついたのが、この話を考えるキツカケになりました。

私自身、その問いの答えがまだわかりません。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3306d/>

天才 / 凡人

2010年11月4日13時32分発行